



FLENSで計算力向上！ 毎回の授業は計算力コンテンツの全国大会！

即時採点&集計がゲーム感覚で学習できるヒミツ

湘南ゼミナール宮崎台教室（神奈川県川崎市・森崎重盛教室長）は低学年向けにタブレット教材「FLENS」を導入し、算数教育に力を入れている。FLENSは次々出題される計算問題を解いていくだけといういたってシンプルなもの。タブレット画面の真中から下が出題欄となっており、問題の下はメモ欄。専用のペンで手書きで計算式を書くことができる。解答欄に手書きで答えを入力すると即時に自動採点。その場で正解不正解がすぐに出る。同時に参加している全国のライバルたちの回答状況が表示され、自分の順位も含めてリアルタイムで変動するため、子どもたちは夢中になって取り組んでいる。

授業開始前には担当講師による宿題のチェックがある。宿題はリハトレブックと呼ばれる紙のドリルで基本的には前学年の範囲から出題する復習形式となっている。リハトレとはリハーサル&トレーニングの略で、授業（コンテンツと呼ばれる）に向けての文字通りリハーサルとトレーニングだ。1ページ20問ほどのドリルが8ページ。これを1週間後の次の授業までにやる。まとめてやるのは大変なので1日1ページを目安にもらい、そのことで家庭学習の習慣づけへとつなげていく仕組みだ。

1回の授業は40分です。まずウォーミングアップでまず計算。その後、ピリオドと呼ばれるリハトレからの出題が1ピリオド3分×4パターンあり、途中、順位発表などのインターバルを設け、間違った問題をやり直してできるようになっている。競い合うライバルは前回の成績をもとに、他校舎を含めた全国の中から似たようなレベルの10名が自動選出される。生徒もそれは自覚しており、「今日は1位だった！」「ピリオドだった！」「ランクが下がった！」「上がった！」など一喜一憂があって面白いようだ。自分にぴったりのライバル10名がマッチングされることで、より一層のモチベーションアップへと貢献している。

授業では講師が前で授業するわけではないため生徒が自由に発言できる場面があり、初めて見る方には驚かれることもあるそうだが、ピリオド開始前にカウントダウンの音が鳴った瞬間、教室は静寂に包まれる。皆、一気に集中し、終わった瞬間、その静寂は破られる。子どもたちの集中力は凄まじく、40分の授業はあっという間に終了するそう。

子どもたちにはずっと勉強が好きでいてもらいたい

宮崎台教室では現在、小学1年生から6年生にFLENSを提供しており、6年生については必修としている。4、5年生は通常授業の算数・国語のオプションとして用意しているが、全体の7割

低学年の授業



株式会社 湘南ゼミナール 宮崎台教室 森崎 重盛 教室長